

「京都大学ジャパンゲートウェイ構想」  
外部評価委員会委員の皆様へ評価をお願いしたい事項

「京都大学ジャパンゲートウェイ構想」については、前回の外部評価委員会において、以下①～④の4つの取組に主に力点を置きながら国際化を推進していくという方向性が示されました。今回の外部評価委員会では、その進捗状況及び達成度について、以下の観点（朱書き）に沿って、評価をお願いします。

- ① 国際戦略本部を中心とした全学を上げての各種施策の企画実施ならびに全学構成員の共通理解と支援の増進に努める  
【観点1】 国際戦略本部では、以下の点について主導的な役割を十分に果たしていると評価できるでしょうか。
  - (1) 国際戦略に係る各種施策の企画実施
  - (2) 全学的意思決定プロセス
  
- ② 吉田カレッジ構想による学部段階での留学生の受入拡充とリクルート機能の確立、その留学生の一定数が順次大学院に進学していくことを促進していくことによる大学院の入学選抜の質と学生の質の維持向上ないし、より優れた研究者の輩出、加えて本学の高度な専門教育を修めた留学生の社会への輩出と定着への寄与  
【観点2】 吉田カレッジ構想（Kyoto iUP事業）では、以下の点について十分に実現していると評価できるでしょうか。
  - (1) 学部段階での質の高い留学生の受入増加、及びそのための海外でのリクルート活動
  - (2) 次世代の卓越人材（大学院進学、研究者等）の育成
  
- ③ 質の保証を伴った国際共同学位プログラムの拡充  
【観点3】 本学で提供する国際共同学位プログラム（ジョイント/ダブルディグリープログラム）は、以下の点について十分に実現していると評価できるでしょうか。
  - (1) 国際通用性の担保、国際的評価（国際プレゼンス）の向上
  
- ④ 学生の語学力や国際性等を向上するための外国人教員100人の雇用と英語科目の質的拡充  
【観点4】 以下の点において十分に実現できていると評価できるでしょうか。
  - (1) 学生の語学力向上
  - (2) 日本人学生の国際交流の促進
  - (3) 外国人教員100人の雇用促進
  - (4) 質の高い英語授業の拡充

以上